資料１－１

令和４年度千葉市市民自治推進の実施状況（案）の概要

Ⅰ 策定・公表の趣旨

この「千葉市市民自治推進の実施状況」は、市民主体のまちづくりを推進するため、「千葉市市民自治によるまちづくり条例」第１７条及び第１８条に基づき、本市が実施した市民参加、協働及び市民の自立的な活動を推進するための取組みを毎年度まとめ、策定・公表するものです。

Ⅱ 概況

（１）「令和４年度市民自治推進のための実施計画（B）」との比較

令和４年度に実施した取組み数は、実施計画と比べ５事業減少しました。

減少数が多かった区分は「事業協力」「共催」ですが、これらは区民祭りなどのイベント事業、ボランティア事業、講座等が多くを占め、市のみならず相手方があることから、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止せざるを得なかったものがあったと考えられます。

（２）「令和３年度市民自治推進の実施状況（C）」との比較

令和４年度に実施した取組み数は、令和３年度と比べ２５事業増加しました。最も増加したのは「パブリックコメント」ですが、他に「市民の自立的な活動を推進するための取組み」「事業協力」の区分で実施事業数が増加しています。

これらは、計画時点から新型コロナウイルス感染症対策が折り込まれるなど、事業を確実に実施する工夫が進んだことによると考えられます。

なお、令和４年度の事業数の合計は３６８事業で、コロナ禍前の平成３０年度（３７０事業）とほぼ同数となっており、新型コロナウイルス感染症対策の浸透等を踏まえ、コロナ禍前の「日常」が戻りつつあるものと考えられます。

区分	R4年度 状況(A)	R4年度 計画(B)	R3年度 状況(C)	計画比 (A)-(B)	前年比 (A)-(C)
1 市民参加の取組み	105	93	96	12	9
(1) パブリックコメント手続	30	19	18	11	12
(2) 公募委員を含む附属機関	31	29	29	2	2
(3) ワークショップ	6	6	6	0	0
(4) 意見交換会	20	22	23	▲ 2	▲ 3
(5) 意見募集	6	6	5	0	1
(6) アンケート調査	9	8	12	1	▲ 3
(7) その他の市民参加手続	3	3	3	0	0
2 協働の取組み	141	158	134	▲ 17	7
(1) 委託	20	22	18	▲ 2	2
(2) 共催	28	33	28	▲ 5	0
(3) 事業協力	88	98	83	▲ 10	5
(4) その他の協働の取組み	5	5	5	0	0
3 市民の自立的な活動を推進するための取組み	59	56	52	3	7
4 市民の意向の把握	7	7	8	0	▲ 1
5 市民と職員の意識向上と人材育成	56	59	53	▲ 3	3
合　　計	368	373	343	▲ 5	25

Ⅲ 令和４年度に実施した主な取組み　※【】内は「令和４年度千葉市市民自治推進の実施状況」におけるページ数及び事業№

１ 市民参加の取組み

（１）千葉市基本計画の策定

【２ページ・（１）パブリックコメント手続 No５】

本市の中長期的な市政運営の基本方針となる、千葉市基本計画を策定するにあたり、パブリックコメント手続を実施する。

※意見提出者数：15 人、意見数 115 件

（２）千葉市実施計画の策定

【３ページ・（１）パブリックコメント手続 No６】

令和 5 年度から開始する新たな基本計画の、まちづくりの基本方針を実現するための主な取組みを示す実施計画を策定するにあたり、パブリックコメント手続を実施する。

※意見提出者数：5 人、意見数 37 件

（３）（仮称）区役所のあり方基本方針の策定

【３ページ・（１）パブリックコメント手続 No７】

10 年後の地域社会を見据えて区役所が果たす役割と、その実現に向けた取組みをまとめた基本方針を策定するにあたり、パブリックコメント手続を実施する。

※意見提出者数：13 人、意見数 33 件

（４）こども基本条例検討委員会

【１０ページ・（２）公募委員を含む附属機関 No15】

こども基本条例の制定に関する事項について調査審議する。

※公募委員募集数：４人、公募委員応募者数 12 人

（５）町内自治会に関するワークショップ

【１４ページ・（３）ワークショップ No２】

持続可能な地域コミュニティの実現のため、ワークショップ参加者がそれぞれの視点から地域活動の課題や参加できる条件などの意見交換をし、地域課題の洗い出しや地域課題解決のための方策を具体化するワークショップを実施する。

※開催回数：２回、参加者数 38 人（２回合計）

（６）千城台地区学校跡施設利活用に関するワークショップ（千城台公民館及び若葉図書館整備）

【１５ページ・（３）ワークショップ No６】

整備に向けた基本計画の策定に当たっての基礎資料とするため、ワークショップを開催し、利用者の意見・要望等の徴収・調整を行う。

構成員：千城台公民館及び若葉図書館利用者、千城台東小学校、千城台南中学校の生徒　等

※開催回数：４回、参加者数 158 人（４回合計）

２ 協働の取組み

（１）記憶の保存事業（市民インタビューによるオーラルヒストリー作成）
【５６ページ・（３）事業協力 No88】

文書化されていないような市民等の記憶の中にある貴重な情報について、インタビュー等を通じてオーラルヒストリーとしてデータを記録・保存し、公開する。

当該作業の一部を市民ボランティアに協力してもらう。

※ボランティアの協力内容：市民インタビュー時の補助及びテープ起こし

３ 市民の自主的な活動を推進するための取組み

（１）コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度【６０ページ・No１】

外国人市民の支援を行う国際交流ボランティアが持続的・安定的に活動を行えるよう、「コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度」を新たに導入し、千葉市国際交流協会がボランティアのマッチングから謝礼の支払いまで一括で実施する。

※登録者総数 126 人、活動実績 98 件（翻訳、通訳合計）

（２）町内自治会とＮＰＯ等のマッチング交流会【６２ページ・No11】

持続可能な地域コミュニティの実現に向けた地域内の連携を進めるため、市内で活動している町内自治会やＮＰＯ等との連携促進を目的とした交流会を開催する。

※開催回数２回

４ 市民の意向の把握

（１）各区区民対話会【７２ページ・No2～7】

市政・区政に関する情報を発信するとともに、区民の意見や提案などを施策に反映していくため、区長が直接区民と対話を行う。

※開催回数 18 回、参加者数 337 人（６区合計）

５ 市民と職員の意識向上と人材育成

（１）ちばし地域づくり大学校【７８ページ・No23】

ちばし地域づくり大学校において、ボランティアに関する知識や幅広い視野を身につけ、地域で継続的に活躍できる地域福祉活動のリーダーを養成するため講座（入門コース（R4 年度新設）、基礎コース、ステップアップコース）を開催する。

対象：市内在住、在勤、若しくは在学している者または本市の近郊に在住するものであって 18 歳以上の者

Ⅳ　新型コロナウイルス感染症の影響

令和４年度の市民自治推進の実施状況策定にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が本市の市民自治推進の取組みへ与えた影響は以下のとおりでした。

なお、参考までに令和３年度の影響を受けた事業数を[　]書きで併記しております。

■新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業数

３６事業　［１３３事業］

■主な影響

（１）未実施：１７事業　［５３事業］

（２）実施回数の変更：８事業　［３９事業］

・実施回数減：公民館文化祭（５３ページ）ほか６事業

・実施回数増：若葉区自主企画事業区民対話会（７２ページ）

（３）実施規模の変更：４事業　［２５事業］

・人数の削減：ヘルシーカムカム（３４ページ）ほか３事業

（４）実施方法の変更：３事業　［３２事業］

・出席者の限定：公共施設マネジメントワークショップ（１７ページ）

・打ち合わせのオンライン化：生涯学習センター施設ボランティア（５４ページ）

・研修の動画配信：廃棄物適正化推進員（４４ページ）

（５）実施内容の変更：４事業　［２８事業］

・事業の一部を中止：スポーツ・レクリエーション祭（３２ページ）ほか２事業

・代替事業の実施：千葉市を美しくする運動推進事業（４０ページ）